



島根県の経済情勢

令和 8 年 4 月 22 日

財務省中国財務局
松江財務事務所

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 飯野
電話 (0852) 21-5231 (内線 4630)



ざいちゅう

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、横ばいの状況にある。

【各項目の判断】

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	→
生産活動	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	→
雇用情勢	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→
設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	7年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	7年度は減益見込み	7年度は減益見込み	→
企業の景況感	「上昇」超幅が拡大している	「下降」超に転じている	↘
住宅建設	前年を上回る	前年を下回る	↘
公共事業	前年度を下回る	前年度を下回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が好転する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

ホームセンター販売は、寒さ対策用品などの販売が低調であり、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、中東情勢の影響による納期の遅れなどから、前年を下回っている。

一方、コンビニエンスストア販売は、高額なコラボ商品などが好調であり、前年を上回っている。スーパー販売は、割高感が薄まった寿司などが好調であり、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、高付加価値の衣料用洗剤などが引き続き好調であり、前年を上回っている。家電大型専門店販売は、オンデマンド付テレビなどが好調であり、前年を上回っている。

また、主要観光施設及び主要温泉地の入込客数は、テレビドラマの放映効果などから、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 降雪が一時的であったことから、除雪用器具の買替需要が伸び悩んだことに加え、ストーブやカイロなどの寒さ対策用品の販売も低調であった。(ホームセンター)
- 新型車の発売に伴い受注は好調であるものの、中東情勢の影響により部品供給に遅れが生じていることから、納期が長期化している。(自動車販売)
- メリハリ消費の傾向がより強まっており、キャンペーン中の割引商品が好調に推移する一方で、比較的高額なコラボ商品なども売れ行きが良い。(コンビニエンスストア)
- 米価格の高止まりや不漁に伴う鮮魚価格の高騰を受けて、相対的に割高感が薄まった寿司が好調に推移している。(スーパー)
- 消費者の節約志向が継続する中、セールやポイント付与などの販売促進策が奏功し、香りなどの付加価値を備えた大容量の衣料用洗剤が引き続き好調。(ドラッグストア)
- オリンピックやワールド・ベースボール・クラシックが開催されたことによりオンデマンド付テレビが好調。(家電大型専門店)
- テレビドラマの放映効果などによる観光需要の増加を背景に、団体ツアーが安定的に催行されたことから、客室稼働率が好調に推移した。(宿泊)
- 2月の大雪で客足が遠のいたものの、近隣観光地への日本人ツアー客が増加しており、来店客数の増勢を肌で感じる状況が続いている。(飲食)

■ 生産活動 「一進一退の状況にある」

鉄鋼・非鉄金属は、在庫調整による生産抑制の影響などから、減少している。輸送機械は、完成車メーカーの減産措置に伴う生産調整などから、減少している。電気機械・情報通信機械、木材・木製品は、概ね横ばいとなっている。

一方、電子部品・デバイスは、電装化の進展などを背景に自動車向けが堅調なことなどから、増加している。汎用・生産用・業務用機械は、飲食業界の設備投資需要が持ち直していることなどから、増加している。窯業・土石は、マンション等における資材需要が堅調なことなどから、増加している。

- 取引先の在庫消化を背景に、受注復調の兆しが見受けられる。一方で、操業度を維持するため将来受注分を前倒して生産してきたことから、既存在庫の消化を優先し、生産量を抑制している。(鉄鋼・非鉄金属)
- 取引先から増産の打診を受けていたものの、中東情勢の影響により完成車メーカーでは一時的な減産措置が取られているため、当社においても生産調整を行っている。(輸送機械)
- 電装化の進展を背景に車載向けが堅調なほか、スマートフォン向けも底堅く推移している。また、足元では大容量・最先端モデルの需要急拡大を背景にAIサーバー向けの受注も増加している。(電子部品・デバイス)
- インバウンド需要や客足の回復を背景に、飲食業界が持ち直し基調にある中で、食品関連機器の生産・出荷台数は増加している。(汎用・生産用・業務用機械)
- 関西圏を中心にマンション等の旺盛な建築需要が続いており、建築資材の受注・生産量は堅調に推移している。(窯業・土石)

■ 雇用情勢 「横ばいの状況にある」

有効求人倍率は、概ね横ばいで推移している。また、法人企業景気予測調査（8年1-3月期）の従業員数判断BSIをみると、「不足気味」超幅は縮小しているものの、依然として人手不足の傾向が続いている。

- 求人側が早期に就業可能な人材を求める傾向が強い一方、求職者側には、現在就業中で好条件の求人があれば将来的な転職を検討する人も多く、両者の間でニーズのミスマッチが生じている。(人材派遣)
- 外国人技能実習生の受入れ等は実施しているものの、現場で即戦力となる人材が不足しているため、リファラル採用やアルムナイ採用を積極的に活用し、経験者の雇用に力を入れている。(鉄鋼)
- 早朝の開店準備や夜間の閉店後作業を行うパート社員を確保したいが、家庭との両立を希望する求職者が多いことから、希望する就業時間帯と合致しにくく、人材が集まりづらい状況にある。(小売)

■ 設備投資 「7年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 製造業は、生産用機械などで減少するものの、情報通信機械や鉄鋼などで増加することから、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業は、卸売などで減少するものの、金融、保険や建設などで増加することから、全体では増加見込みとなっている。

- 中長期的な部品需要増加への対応を可能とする生産体制の構築を目的とした新棟建設及び設備導入を実行している。(情報通信機械)
- 省エネ投資を進めており、店舗に太陽光パネルを順次設置し、自家発電による電力供給を推進している。(金融、保険)

■ 企業収益 「7年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 製造業は、生産用機械などで増益となるものの、情報通信機械や木材・木製品などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業は、建設などで増益となるものの、小売や農林水産などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超に転じている。なお、先行きは、「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、貸家が増加しているものの、持家や分譲住宅が減少していることから、前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年度を下回る」

- 公共工事前払金保証請負金額(年度累計)でみると、国で増加するものの、市町村や県などで減少していることから、前年度を下回っている。

島根県の経済情勢

資料編

目次	ページ
1. 個人消費	1
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	5
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	6
8. 公共事業	6

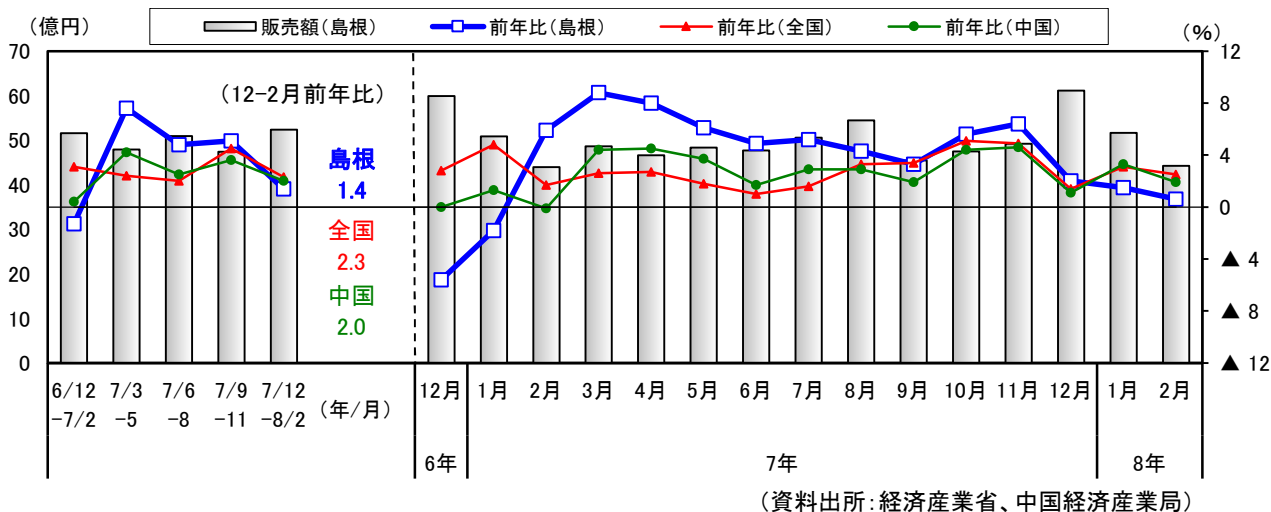
※ 本資料のグラフは各機関の公表数値を基に作成している。なお、公表されていない一部項目の数値については、当所で算出している。

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 飯野
電話 (0852)21-5231(内線 4630)

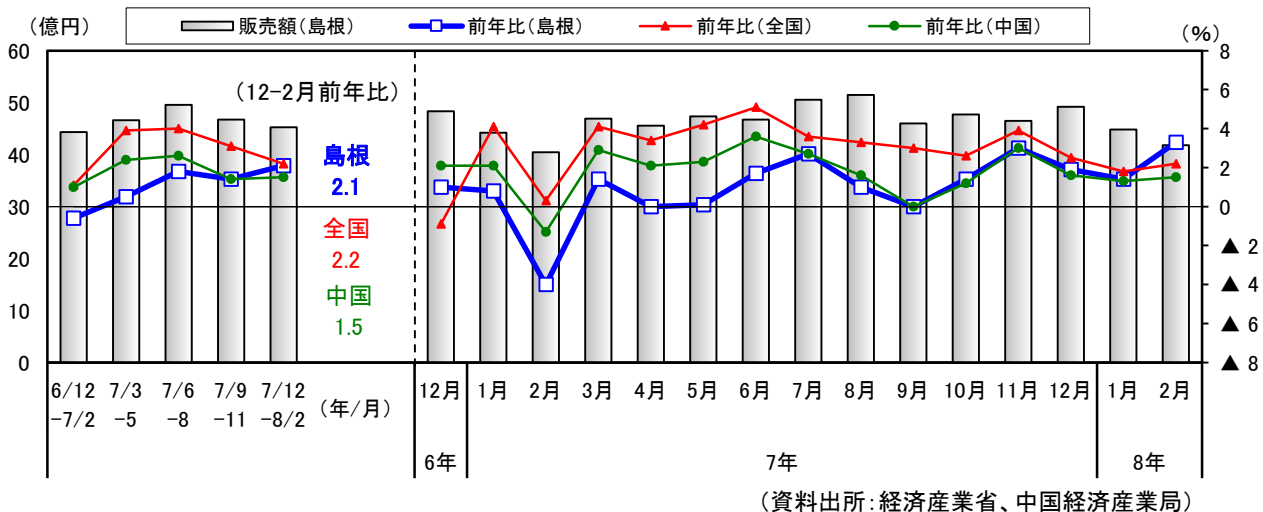
1. 個人消費 持ち直している

(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示

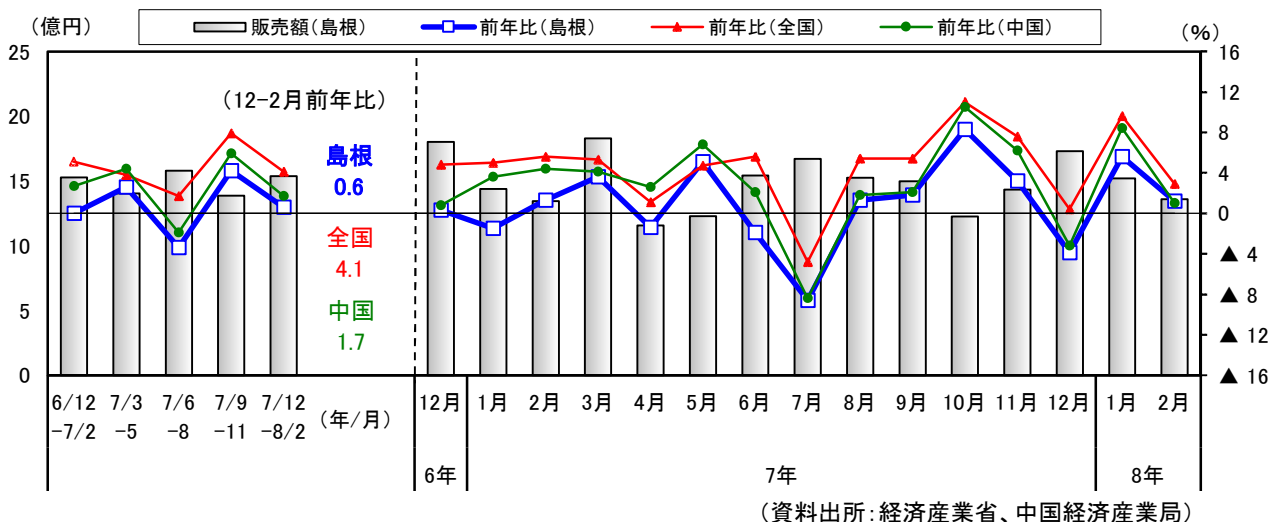
(1)百貨店・スーパー販売額(全店舗)



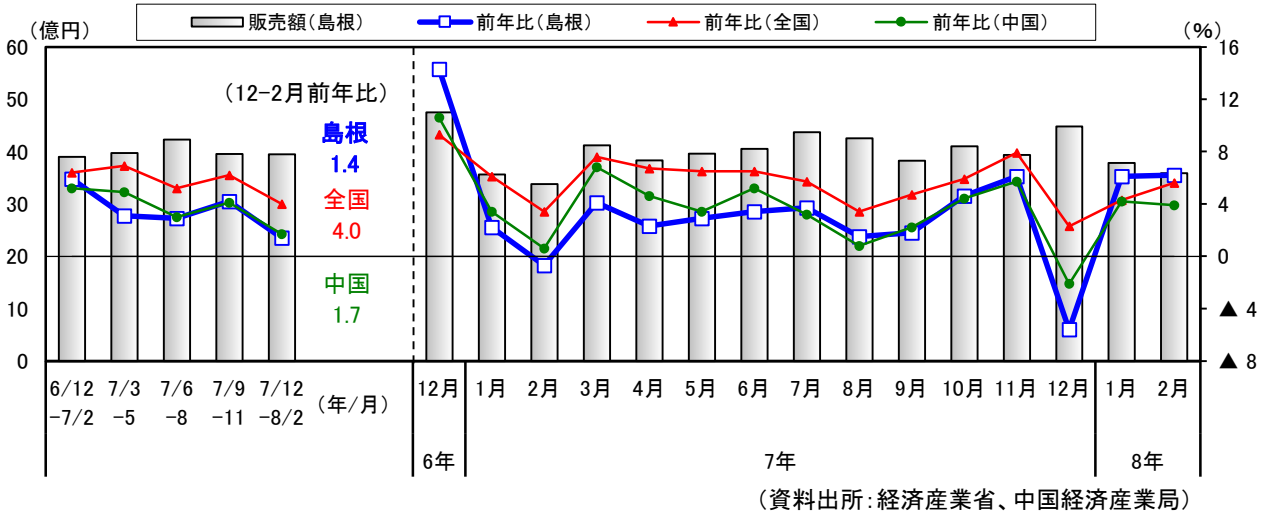
(2)コンビニエンスストア販売額(全店舗)



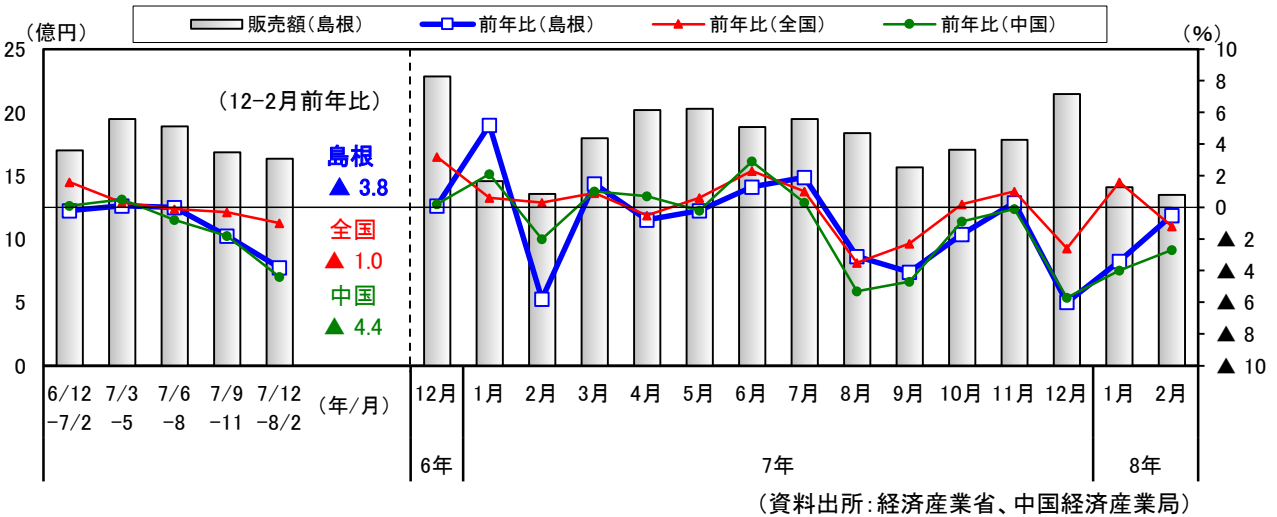
(3)家電大型専門店販売額(全店舗)



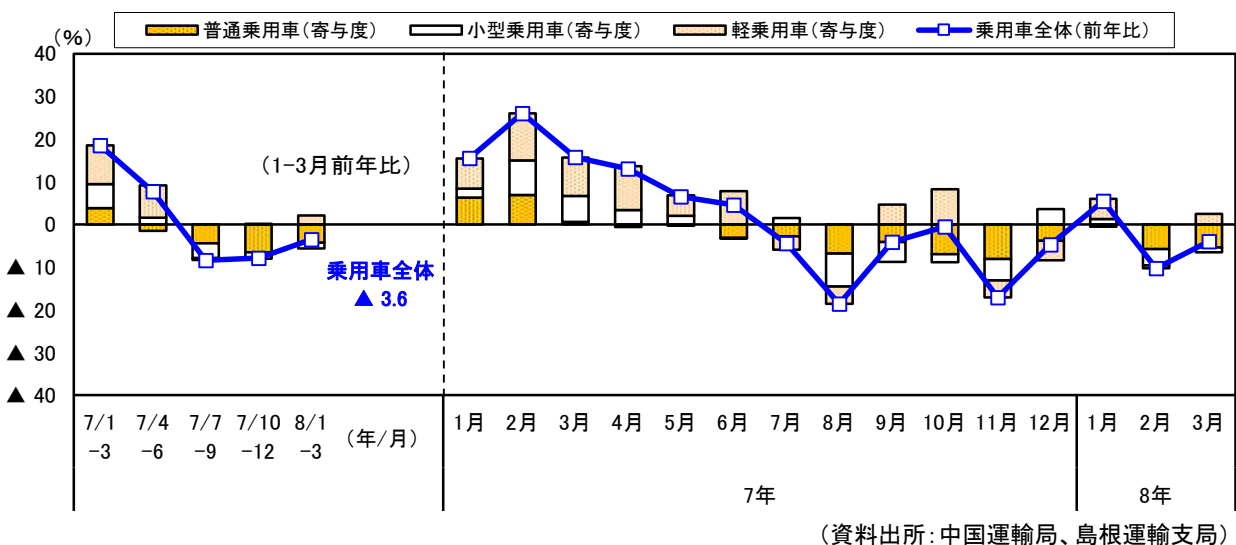
(4)ドラッグストア販売額(全店舗)



(5)ホームセンター販売額(全店舗)



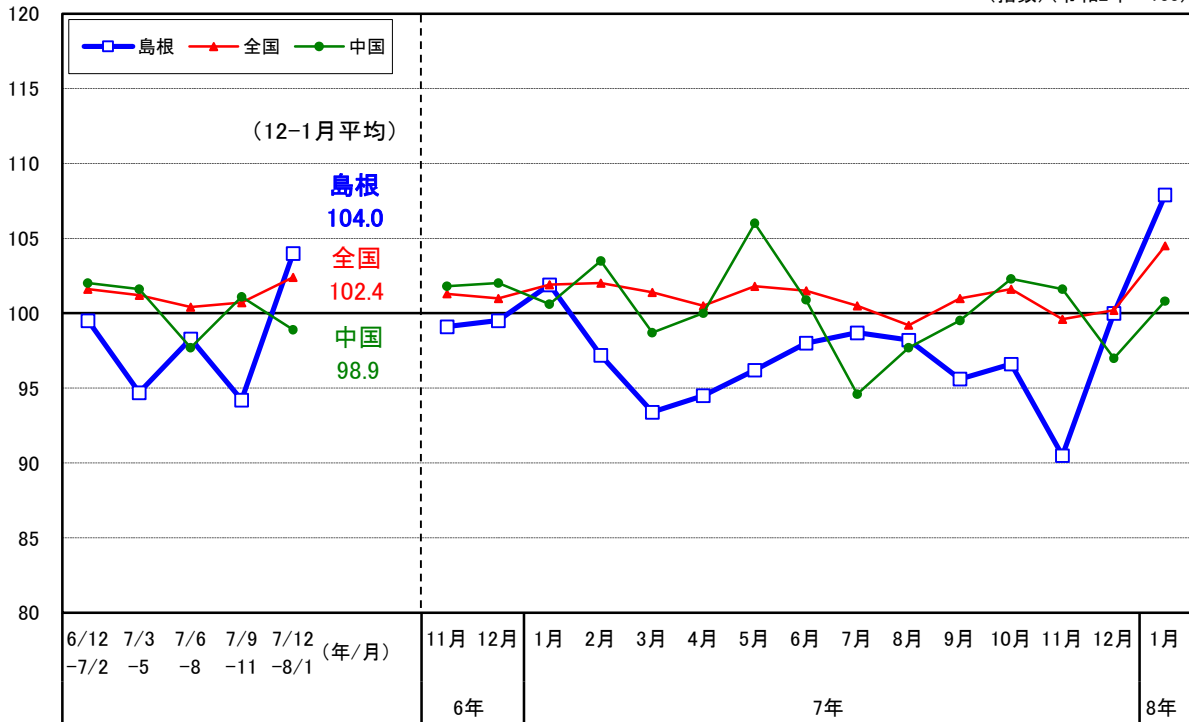
(6)乗用車販売(新車登録・届出台数)



2. 生産活動 一進一退の状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

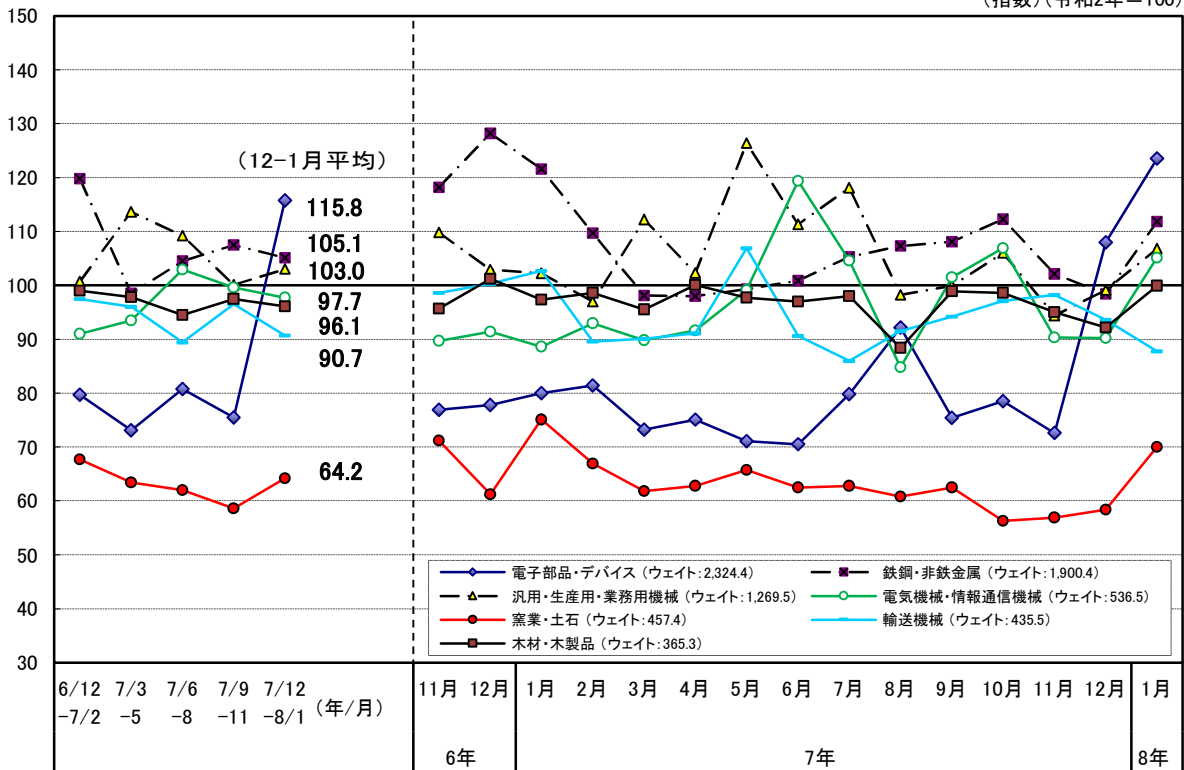
(指数)(令和2年=100)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局、島根県統計調査課)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数)(令和2年=100)

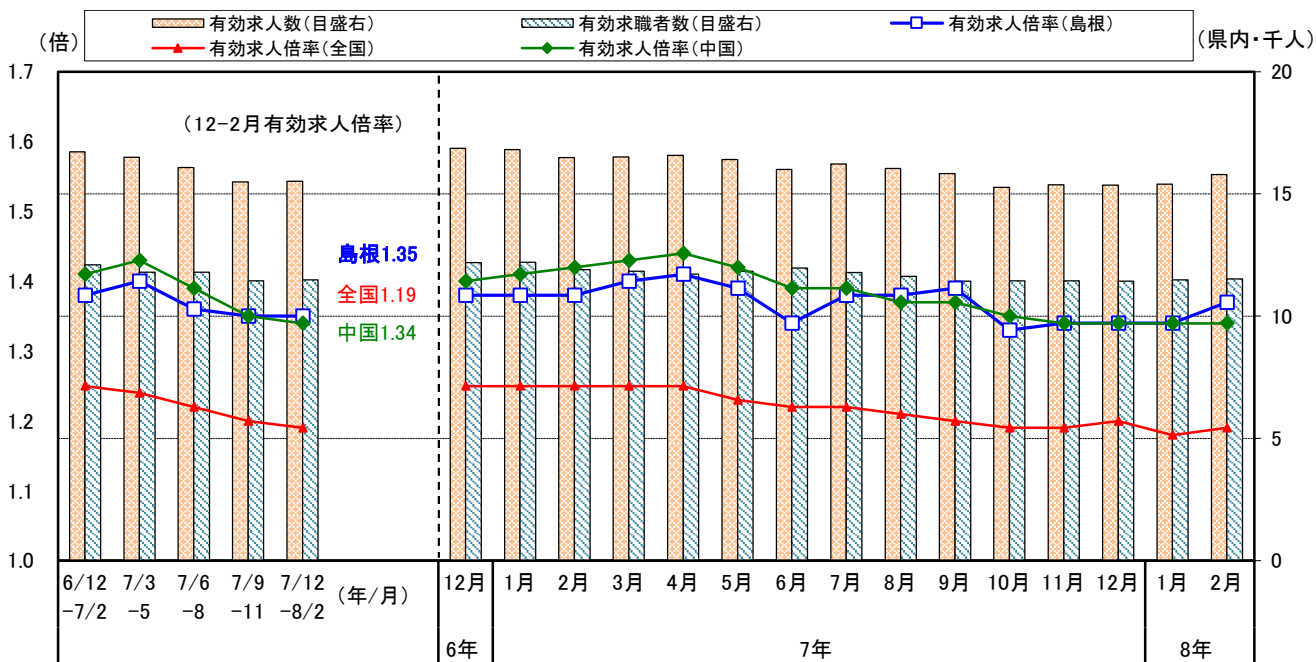


(資料出所: 島根県統計調査課)

3. 雇用情勢 横ばいの状況にある

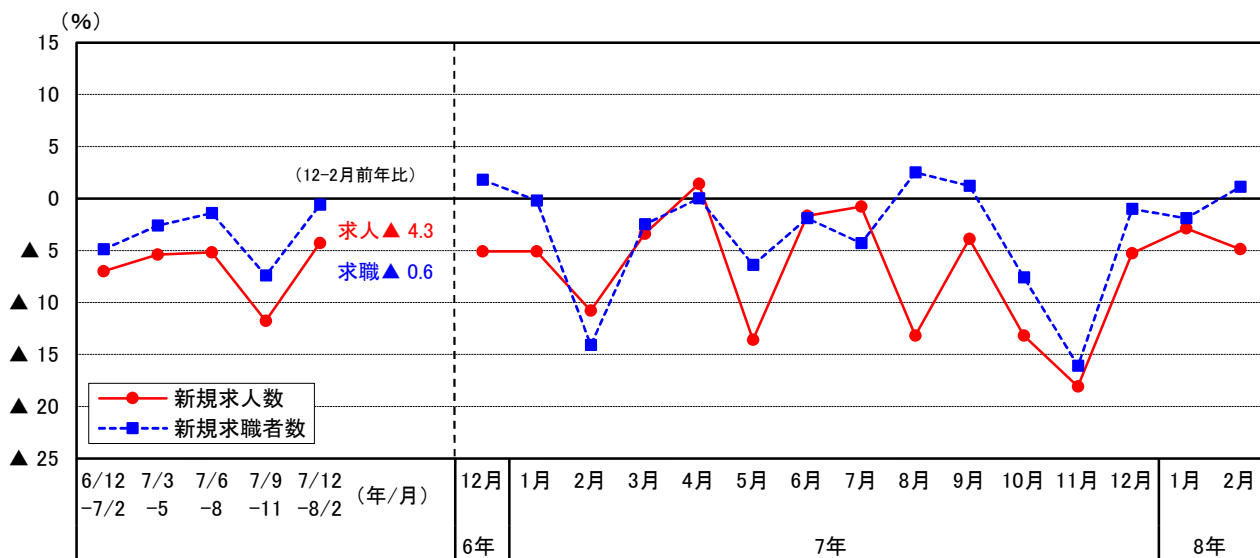
(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、島根労働局)

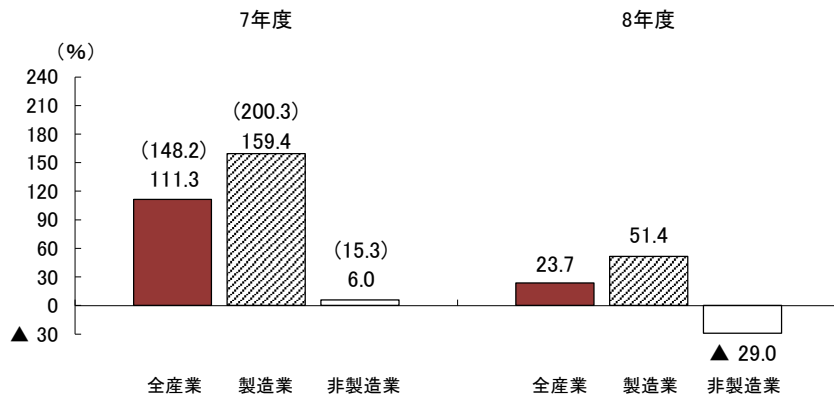
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所:島根労働局)

4. 設備投資 7年度は前年度を上回る見込み

設備投資の前年度比増減率

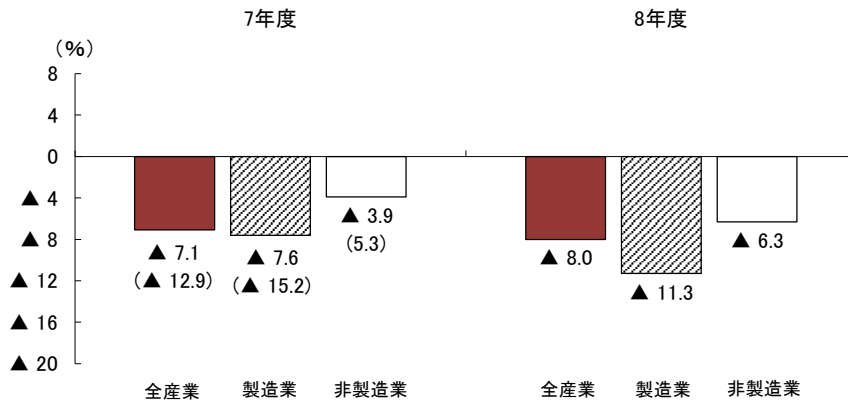


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(8年1-3月期)結果
 2. 土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む。
 3. ()書きは前回(7年10-12月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

5. 企業収益 7年度は減益見込み

経常利益の前年度比増減率

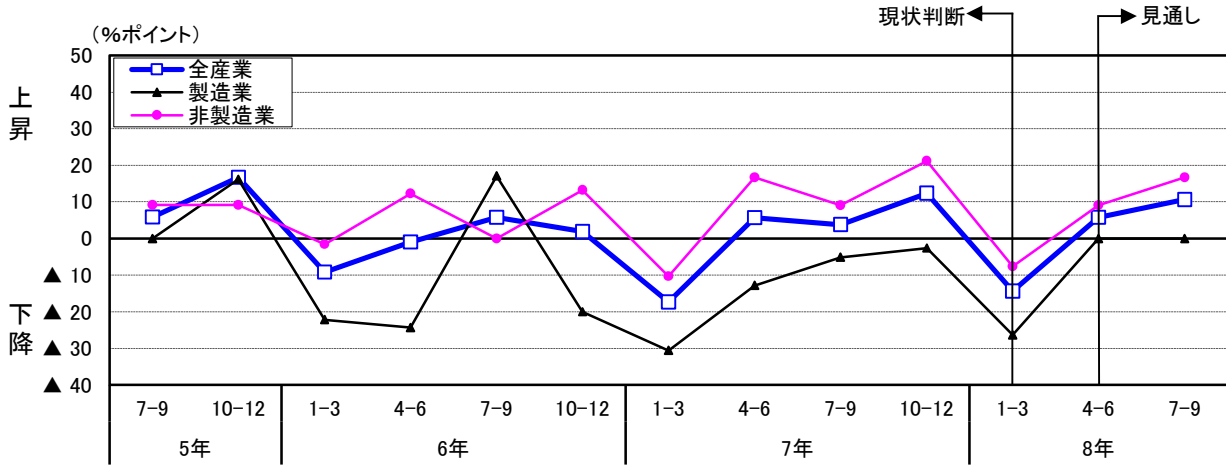


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(8年1-3月期)結果
 2. 電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く。
 3. ()書きは前回(7年10-12月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

6. 企業の景況感 「下降」超に転じている

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

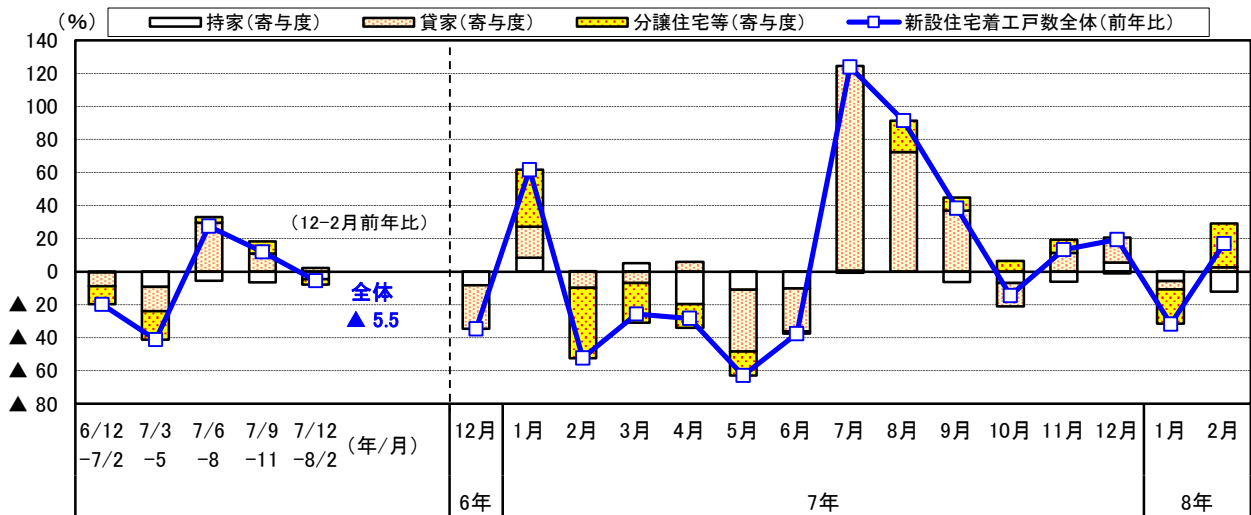


(注)法人企業景気予測調査(8年1-3月期)結果

(資料出所:松江財務事務所)

7. 住宅建設 前年を下回る

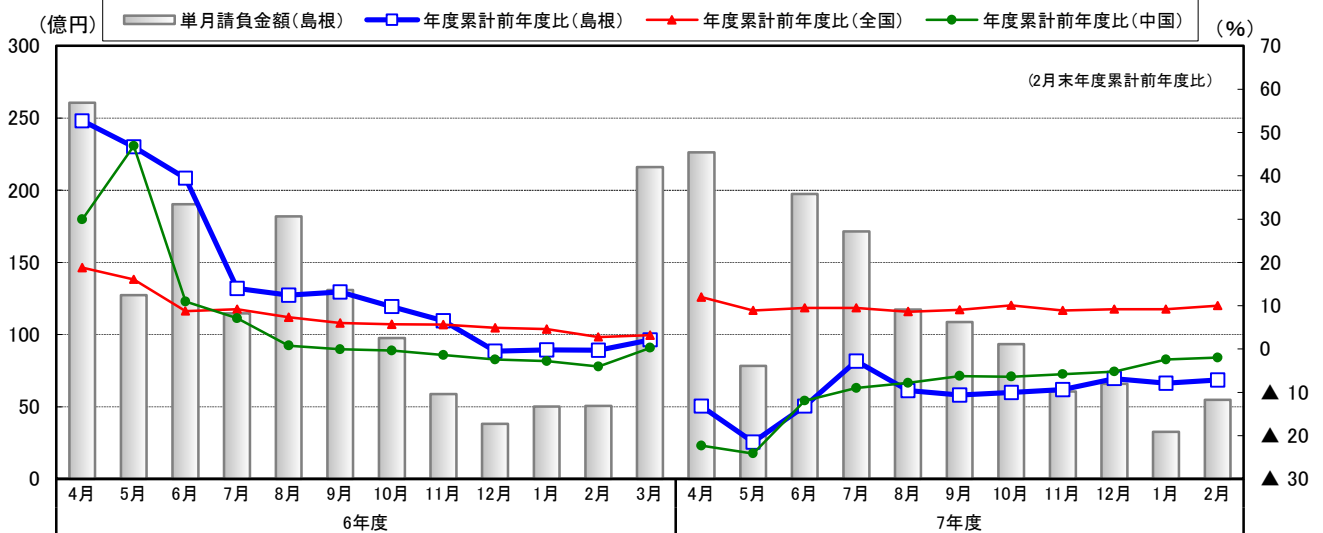
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所:国土交通省)

8. 公共事業 前年度を下回る

公共工事前払金保証請負金額(年度累計前年度比)



(資料出所:各建設業保証(株))